



園長だより

令和6年11月1日発行
ありんこ親子保育園
園長 中嶋 悦子

先日行われました運動会へのご参加ありがとうございました。保護者の皆さまの温かいご声援に、子どもたちも私たち保育者も、思い出に残る1日となりました。準備から実行まで、ご理解とご協力をいただき心より御礼申し上げます。

今回は、私たち『保育士』について、少しご紹介したいと思います。



保育士とは？

以前は、「保母」や「保父」と呼ばれていたものですが、1999年に名称が「保育士」に変更され、2003年に児童福祉法の改正に伴い、保育士は国家資格となりました。このため、「保母免許証明書」があっても「保育士登録」をしなければ、有資格者として働くことが出来なくなりました。よって、保育士とは、「児童福祉法第18条の第1項の登録を受け、保育士の名称を用いて、専門知識及び技術をもって、児童の保育及び児童の保護者に対する保育に関する指導を行うこと業とする者」をいいます。



保育士が求められる職場

保育士が求められる職場は多岐にわたります。保育園（所）の他に、児童養護施設、知的障害児施設、知的障害児通園施設、盲ろうあ児施設、肢体不自由児施設、重症心身障害児施設、情緒障害児短期治療施設、乳児院、母子生活支援施設、児童厚生施設、児童自立支援施設、児童発達支援・放課後等デイサービスで働くことができます。また、保育士が名称独占の専門職となったことで、今後、保育士の職場はさらに拡大されると考えられます。

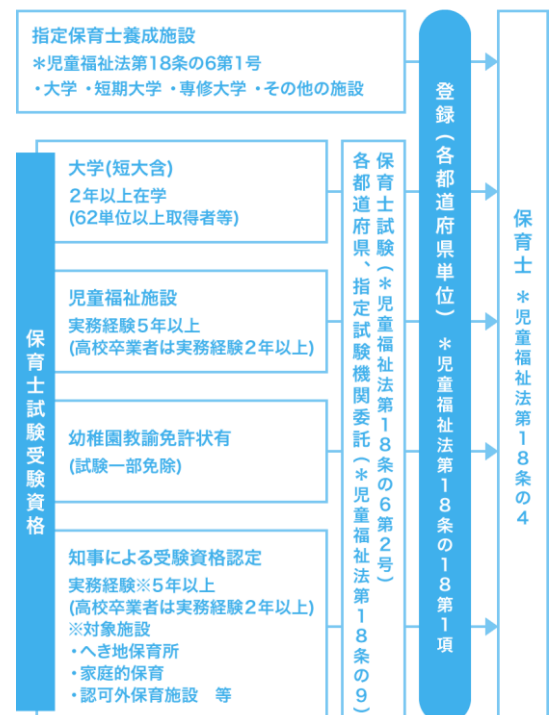


保育士資格の取得方法

保育士資格をとるには主に次の3つの方法があります。

- 1.高等学校卒業後、大学・短期大学・専修学校などの保育士養成機関に入学し、所定の単位を取得して卒業する。
- 2.大学・短期大学の通信教育または夜間を受け、所定の単位を取得して卒業する。
- 3.各都道府県が実施する保育士資格試験に合格する。

保育士資格取得方法



保育士の仕事とは？

○日々の業務

保育士は、乳児から小学校入学前の保育を必要とする子どもを預かり、（当園では、朝7時～夜7時まで）保育を実践することが仕事の中心です。

保育園では、朝、子どもの健康状態に気をつけながら受け入れ、年齢や発達にあわせた遊びや活動、生活等の体験を通した総合的な関わりの中で成長の援助を行います。

○書類等の作成

書類等の作成も重要な仕事の一つです。保育士は、「保育所保育指針」に基づいた「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の5領域に配慮しながら、年間指導計画と月指導案等を立て、養護と教育を行っています。保育士の仕事は子どもたちと直接関わるだけでなく、子どもの様子を保育日誌などの記録にとることや、子どもの健やかな育ちのために、保護者や他機関との連携をとること、要録・日誌・連絡帳・ヒヤリハット報告書・SIDSチェック表（午睡チェック）・行事起案書・行事報告書・研修報告書・園だより・クラスだより等を作成することも重要な仕事です。

○子育て支援・指導・子育て相談

保育士は、保護者の子育て支援や指導、子育て相談も重要な仕事です。園児の保護者だけでなく、地域の子育て世代の保護者支援や指導・指導、時には卒園された後の相談も行っています。中には中学生になった卒園児さんの相談もあります。卒園しても児童や保護者の支援・指導・相談は継続していくことも必要と考えています。このように、保育士は地域の子育ての専門職として大いに期待されている存在と言えます。

○行事の準備

園の行事は年度初めの入園式から始まり、作品展、運動会、発表会、季節の行事、遠足、卒業式まで、保育園にはたくさんの行事があります。行事の準備から実行まで、安心安全に行うために計画を立てていきます。遠足などは下見を行います。

○園内外の研修・関連施設や行政機関等との連携

保育士の専門性の向上とリーダー職員の育成のため、キャリアアップ研修を実施しています。（研修分野① 乳児保育 ② 幼児教育 ③ 障害児保育 ④ 食育・アレルギー ⑤ 保健衛生・安全対策 ⑥ 保護者支援・子育て支援 ⑦ 保育実践 ⑧ マネジメント）

その他、絵本の読み聞かせやリトミック、体操教室、ピアノなどもあります。このような研修を園内外で行っています。また、関連施設や行政機関等との連携も行います。



仕事のやりがい

このように保育士の仕事を紹介すると、「保育士さんって大変ですね…」と言われることが多いのですが、その分、やりがいの大きい仕事でもあります。保育士の一番のやりがいは、子どもたちの成長を間近で感じられることです。日々の保育では、昨日できなかったことができるようになったり、葛藤しながらも乗り越える姿を見られたりすると、たくさんの感動に出会えます。

毎年、卒園式で保護者様より、温かいお言葉をいただくたびに、この仕事を頑張ってきて本当に良かったと、心から思います。これからも、子どもたちと保護者の皆さまと一緒に楽しみながら保育できたら最高です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

